

平成27年第6回 沼津市教育委員会定例会会議録

1 日 時 平成27年6月2日（火）午後1時30分～午後2時11分

2 場 所 沼津市明治史料館 2階 講座室

3 日 程

(1) 会議録署名人の指名（細沼委員 三好委員）

(2) 前回会議録の承認（細沼委員 土屋委員）

(3) 議 案

議第23号 沼津市社会教育委員の委嘱について

(4) 協 議

なし

(5) 報 告

1) 高尾山古墳の発掘調査について

2) 平成27年度第17回山口源大賞の決定について

(6) その他

なし

4 出席者等

委員長 久松但、委員長職務代理者 細沼早希子、委員 三好勝晴、委員 土屋葉子、
教育長 工藤達朗、教育次長 井原正利、市立沼津高等学校校長兼中等部校長 川口孝博
教育企画室長 真野正実、学校管理課長 山本貴史、学校教育課長 大川淳、
教職員研修センター所長 望月まゆみ、文化振興課長兼戸田造船郷土博物館長 勝又恵三
文化振興課主幹 池谷信之、生涯学習課長兼勤労青少年ホーム館長兼ゆめとびら船山所長
中村朗、少年自然の家所長 石井学、スポーツ振興課長兼市民体育館長兼勤労者体育センター所長
原靖、図書館事務長 芹澤恵美子、市立沼津高等学校事務長 杉山善英、
青少年教育センター所長、相磯幸代、調整担当 新井寿明、
教育企画室指導主事 本杉淳、教育企画室主任 岡村和人

5 会 議

久松委員長が、午後1時30分開会を宣言する。

久松委員長より会議を公開とすることを委員に諮り、了承される。

傍聴人1人。

久松委員長より、会議録署名人に細沼委員、三好委員を指名する。

<教育長報告>

改めまして、こんにちは。

2件報告します。

1件目です。今朝の静岡新聞にも掲載されましたが、昨日、大岡南小学校の児童が、放課後に遊具で遊んでいた際、遊具のロープが絡まる事故により、入院となりました。現在まで把握したところでは、後遺症も残らないだろうという医師の所見です。今後の経過はわかり次第報告させていただきます。特別に問題行動があったわけではなく、遊んでいる中の事故ということです。現場には多くの子どもたちがおり、救出と通報が行

われました。元気になって登校できるようになればなによりです。安全と言われている遊具であっても、このような事故が起こりうるということ踏まえて、改めて点検等を行っていかねばなりません。

2件目ですが、先週の9月28日、29日に、関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会の研修会が長岡市で開催されました。久松委員長の都合が合わなかったため、私が出席させていただきました。長岡市は人口28万人の新潟市に次ぐ都市で、教育者を多数輩出しています。著名なところでは、東洋大学を創設した井上円了、米百俵の逸話で有名な小林虎三郎などです。視察した山本五十六記念館では、「一生の計は少時にあり」との書が印象的でした。義務教育、幼少時の教育の重要性を改めて認識することとなりました。本日もよろしくお願いいたします。

<議 案>

生涯学習課長 議第23号 沼津市社会教育委員の委嘱について
(生涯学習課長 資料に基づき説明)

久松委員長 本件に対するご質問ご意見等はいかがか。

細沼委員 この方々について意見があるわけではないが、在任年数が長い方もいる。これについてはどう考えているか。

生涯学習課長 委員長については、ここで10期となり、大変長くなっている。社会教育委員の組織についてだが、静岡県社会教育委員連絡協議会という組織があり、この会の会長に就任している。また、平成29年度には、関東甲信越静岡地区社会教育研究大会が静岡県で開催されることが決まっている。現委員長には、その経験と知見により、準備段階から大会を終えるまでご尽力いただきたいと、協議会からお願いが挙がっているという事情もある。

細沼委員 研究大会の日取りは。

生涯学習課長 平成29年の11月である。

細沼委員 12期目まで想定されているということか。

前回の就任時にも、長期化についての意見はあったと思う。

生涯学習課長 研究大会に係る事情も考慮することとなった。

細沼委員 後任の人材についてはいかがか。

生涯学習課長 中心的役割を担っていただいていたこともあり、なかなか難しいのが現状であるが、後任については留意していく。

三好委員 県協議会での任期、県内他市町との兼ね合いは。また、研究大会の開催地どこになるか。

生涯学習課長 沼津市で開催する予定となっている。

久松委員長 研究大会などの予定は、数年先まで決まっているのでは。

生涯学習課長 そのとおりであるが、後任の難しさの中で、大会開催の事情が重なった。

三好委員 私たち教育委員も任期があり、何期までという決まりもないが、あまり在任が長くなっても良くないと思っている。社会教育委員についても同じだと思う。

生涯学習課長 10年程度をひとつの契機と考え、社会教育委員とも協議させていただいているが、今回は大会開催の事情も考慮しお願いした。

三好委員 在任期間に対しての意見であって、人物的には問題ないと思う。

細沼委員 10年を契機とすると倍以上となってしまう。

土屋委員 難しい状況ではありつつも、引き続いて検討していただきたいと思う。

教育長 人物としてはどの方も立派な方。県協議会としても頼りにしているところがある。沼津市の委員長が、県協議会の会長になるということか。

生涯教育課長 そのとおりである。

久松委員長 公募委員に男性はいないのか。

生涯教育課長 5人の応募のうち3人が男性だった。面接と論文の内容により、お示しの女性2名となった。

三好委員 どういう活動をなさっている方か。

生涯教育課長 大橋さんは元中学校の教員で、現在退職教員連名の役員をなさっている。佐野さんは、現在子育て中で、また、英語サークルを立ち上げ、運営している。

久松委員長 ご意見も尽きたようなので、お諮りする。

議第23号について、原案どおり可決することにご異議はいかがか。

各委員 異議なし。

久松委員長 異議なしと認める。

議第23号については、原案どおり可決することに決する。

<報 告>

1) 高尾山古墳の発掘調査について

(文化振興課長 資料に基づき説明)

久松委員長 本件に対するご質問ご意見等はいかがか。

三好委員 残してほしいという意見、道路行政としての考えなどがあるなかで、検討を進めていくことになるが、様々な角度で検討し、その結果を十分に説明していく必要がある。

文化振興課長 先週文教消防委員会にて報告した。検討、報告を進めてきたものだが、最終的な結果の報告がなされた印象となったようだ。6月議会での質問も想定される。

三好委員 突然決めたわけではなく、検討してきた結果。その説明が尽くされればよいと思う。

細沼委員 発掘調査を再開するということか。期間はどの程度想定しているか。

文化振興課長 27年度、28年度の2年間である。

久松委員長 発掘調査の再開とは、古墳自体は無くなるということでしょうか。

文化振興課長 発掘調査をすると、古墳は無くなってしまふ。しなければ残る。構造上難しい。東側の歩道部分の下に一部残ることになる。

教育次長 古墳の形が明らかになるところまで発掘調査、報告し、中断されている。

久松委員長 そのほか何か質問等はいかがか。
 ないようなので、この件については報告を受けたということでご了承
願う。

各委員 異議なし。

2) 平成27年度第17回山口源大賞の決定について

(文化振興課長 資料に基づき説明)

久松委員長 本件に対するご質問ご意見等はいかがか。
三好委員 印刷された資料では、少しわかりにくいので、実物を見たい。
教育次長 水平に展示するように制作されている。
教育長 是非みていただきたい。
三好委員 これまで静岡県からも受賞者が出ていた。
教育長 掛川の方。
 沼津からも出ていただければ。
久松委員長 そのほか何か質問等はいかがか。
 ないようなので、この件については報告を受けたということでご了承
願う。

各委員 異議なし。

久松委員長 そのほかに何かあるか。
 特にないようなので、以上をもって本日の定例会を終了する。

午後2時11分 閉会